

SUMMER PROGRAM

IN PORTLAND, OREGON

オレゴン研修旅行2016

2016.9.6~9.12



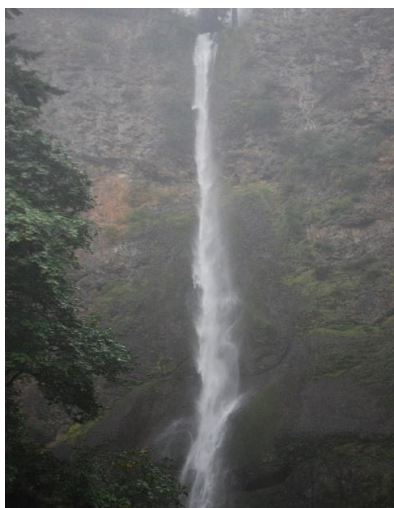
Day1

成田国際空港から出発!!
約9時間のフライトを経てオレゴン州ポートランド国際空港に無事到着。
いよいよ、オレゴン研修の始まりです!!

1

Multnomah falls & Hood River

マルトノマの滝を見学。壮大な景色に感動しました。
その後、フットリバーのほとりにあるレストランで昼食をとり、バラ園で満開のバラを観賞しました。



2

Orientation

ホテルチェックイン。
翌日からの研修に備え、ホテル内の会議室でオリエンテーションを行いました。

1

Meals on Wheels People

オレゴン州が在宅介護サービスの一環として行っている食事サービスでボランティア活動をしました。6グループに分かれ、ランチの宅配補助やダイニング・センターでの配膳・後片付け等をしました。実際のボランティア活動に参加できるのは、オレゴン研修の大きな魅力の一つ。ボランティアスタッフや高齢者の方々との交流を通じて、現地の状況を肌で感じる貴重な機会となり、活動後には、Meals on Wheels Peopleより修了証が授与されました。



ゴンドラに乗ってオレゴン健康科学大学を訪問しました。
日本人医師である山下大輔先生より家庭医の役割や
日本とアメリカの医療制度の違いについて話を聞きました。



宿泊施設まで車椅子アクセスの行き届いた現地の公共交通機関を使って移動！
ポートランドの街並みを満喫しました♪

Day3

Providence Portland Medical Center

ポートランドにあるProvidence Portland Medical Centerを訪問しました。
この施設は、がん、心臓、整形外科、女性の健康、リハビリテーション、メンタルヘルスなどの分野で
高い評価を得ている総合病院です。
グループ別に見学し、医療現場のスタッフから医療現場が抱える共通の課題や、
アメリカの医療機関ならではの工夫などについて話を聞きました。
見学前には、スタッフや患者さんも利用する病院内のカフェテリアでランチを食べました！



乳がんセンター訪問



乳がんセンターを見学しました。
乳がん患者が利用するショップでは、ブラジャーやウィッグ、帽子などが用意されており、発症から術後までサポートを受けられる施設となっていました。
また、患者さんとその家族に精神的なサポートと実践的なアドバイスも提供しており、それぞれの気持ちに寄り添った支援体制が充実していました。

グループ別の病院見学

画像診断部門、看護部門、リハビリテーション部門を、2つのグループに分かれて見学しました。
実際の医療機器を使っでのデモンストレーションは、非常に分かりやすく、アメリカの医療現場を肌で感じることができました。

研修を終えた学生には、修了証が授与され、本学からは感謝状を贈りました。





ビジネス、サイエンス、生物学、化学、前医学研究、福祉学、心理学、運動・スポーツサイエンス等幅広い分野を学べる Concordia Universityを訪問し、スポーツ健康学を専攻している学生とピザを食べながら交流を図りました。その後、大学構内を見学し「心拍数」を測る実験に参加したり、「人体の体積」を測る装置等について学びました。最初は、言葉の壁に苦勞した学生もいましたが、研修を終える頃には連絡先を交換し合ったり、別れを惜しんでいる姿が見受けられました。





ダウンタウンを流れるウィラメットリバーで
ドラゴンスポーツメンバー（乳がんサバイバーサポートチーム）
と共にドラゴンボートを楽しみました。
天候にも恵まれ、まさにドラゴン・ボート日和！
3つのボートに分かれスピードを競い合いました。

その後はドラゴンスポーツメンバーと昼食をとり、
交流を深めると共に、アメリカの社会や文化について
学びました。



乳がん啓発活動のシンボルとして知られる“ピンクリボン運動”と深い係わりのある Susan G.Komen 乳がん基金のオフィスを訪問しました。

ここでは、乳がんの啓発及び資金調達のため、フェスティバルやマラソン大会などさまざまなイベントを行っています。

アメリカでは、病気の克服へ向けてNGO団体が大きな役割を果たしているということを学びました。



Day6

Free time



研修もついに5日目!!
この日は自由行動です!
それぞれの時間を楽しみました。

Day5

移動&帰国

充実した研修を終えた学生達は無事に帰ってきました。
今回の研修も多くのスタッフ、各施設の関係者の方によって実のあるものとなりました。
本当にありがとうございました。

振り返り

帰国後、参加した学生・教職員で懇親会を行いました。
今回の研修を皆で振り返り、改めて充実した研修であったと実感していました。



参加した学生から

様々な面から将来医療従事者として働くときに役立つことを学べたので、すごく良い経験になりました。
日本とは考え方が異なる点が多かったけれど、根本的には理念というのは世界共通だと思いました。
幸い、英語はある程度不自由なく会話できたのでとても充実した1週間でした。
ポートランドは街の規模や気候もよく過ごしやすかったので、今度は観光メインでも行ってみたいです。

日本とアメリカの医療・機器の違い、文化の違いなどが目に見えて体感できたので、すごく良い経験になりました。看護師の役割なども、日本では多くの仕事を看護師が受け持っていますが、アメリカではそれぞれの医療職の役割がはっきりと分かれているため、看護師の負担が軽減されていると感じました。

他学科の人とも交流でき仲良くなったこと、自分の少ない単語数でも会話が成り立ち、コミュニケーションを取ることができたこと、アメリカの医療現場やボランティア状況を自分の目でしっかり見れたことなど多くの発見があり、体験も出来て良かったです。

視野や考え方が広がり、とても充実した一週間でした。